



たんばいんぐ

議会だより

No.43
2015.10



CONTENTS

9月定例会	2
決算特別委員会	6
議案の審議結果	8
一般質問	10
市議会からの提言	16
12月定例会の日程	18
議会報告会を開催します	19
皆さんからのひとこと	20

気になるワード載ってます



+ Open!

マイナンバーカードや 補正予算・決算などを審議

9月 定例会



一般会計補正予算 総額 6億5,902万円を可決

9月補正予算のおもな内容

【歳入】	国庫補助金 放課後児童健全育成事業補助金	5,163万円
	市債 災害復旧債	1,810万円
【歳出】	いきいき定住促進住宅補助金(U・ターン推進事業)	831万円
	辺地対策道路整備事業	3,000万円
	河川改良事業	4,000万円

※決算の審議内容については7ページで紹介しています。

第83回定例会を9月1日から9月30日まで30日間の会期で開催し、平成26年度決算や条例の改正、補正予算などについて慎重に審議しました。

平成27年度一般会計の補正予算は議長を除く議員全員による補正予算特別委員会(土田信憲委員長)で、平成26年度決算については決算特別委員会(坂谷高義委員長)で審査しました。

本会議での主な質疑は、次のとおりです。

本会議での主な質疑

平成26年度一般会計
決算の認定

問

丹波市人権同和教育協議会への補助金を減らし、自前の資金で活動すべきではないか。

答

市では、同協議会の活動のメリットは全市に渡るものと判断しています。今後は、行政改革の方針に基づき交付を検討していきます。

問

障がい者のグループホームを維持していくための補助金はないのか。

答

障害福祉サービスの給付があり、その報酬が運営維持に回されま

平成26年度水道事業会計
決算の認定

問

減価償却費が高くなっているのはなぜか。

答

制度の改正により固定資産のみなし償却制度が廃止されたためです。

個人情報保護条例の
一部改正

問

個人情報の目的外利用の例外として、「生命身体または財産の保護を必要とした際の本人の同意が困難な場合」があるが、どついつた場合を想定しているのか。また、それはだれが決定するのか。

答

急病、災害、事故、事件に遭遇された場合を想定しています。現場での判断を市長に伝え、市長が最終判断をします。



スポーツ施設を利用する場合

※営利目的は10倍

改正前：スポーツ以外での利用なら2倍
10倍×2倍=20倍

改正後：スポーツ以外での利用でも同額
10倍×1倍=10倍

生涯学習施設使用料の見直しに伴う関係条例の整備

問 スポーツ施設の利用で

営利目的の場合は20倍の使用料にすればいいと考えるが、10倍にしたのはなぜか。積算根拠はあるのか。

答 元々は、スポーツ施設でのスポーツ以外

の利用については使用料を2倍とじていましたが、今回の見直しで、生涯学習目的の利用なら同額としました。これにより、スポーツ以外の営利目的利用であれば20倍の使用料を請求していたのを、営利目的の利用として10倍の使用料としたものです。



* PICK UP *



マイナンバーカードの導入と個人情報の保護

「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」いわゆる「マイナンバー法」が10月から始まり、全国民に一人ひとり異なる個人番号（マイナンバー）が通知されます。それに向けて、マイナンバーの利用や個人情報の適正な取り扱いのルールを定めるための条例と、制度導入に伴い再発行時にかかる手数料条例の一部改正

について、本会議及び所管の常任委員会で審議・審査されました。

問 10月から順次個人番号が通知されるが、個人の情報が漏れる恐れはないのか。番号制の周知はどのようにするのか。

答 個人情報が漏れないように万全を期すつもりです。周知活動は市の広報などで進めていきます。

問 市町村間や県・国とのネット上での情報連携で個人番号が漏れることはないのか。

答 ネット上での情報のやりとりには個人番号を直接使いません。通信時には暗号化されます。

問 個人番号カードの再交付料が800円とあるが、その積算根拠は。

答 国の基準額に基づき決定しています。

問 自治体独自の番号制度の利用としては、どんなことを考えているのか。

答 丹波市独自の利用について、現在のところ特別なものは考えていません。

問 個人情報の管理に ついて、市はどのように考えているのか。

答 それぞれ研修会を行っており、システムもセキュリティを備えたものを導入し、情報漏えいのないように務めていきたいと考えています。

問 今年は、全国高校野球硬式大会の地方予選で春日運動公園野球場を使用されなかったのは、営利目的と判断して20倍の使用料を請求したことが原因のようだが、この大会を営利とするのは間違っているのではないか。

答 規定では、入場料540円を営利・非営利の判断基準としています。同大会は、700円の入場料で市外の利用者がほとんどであることから、20倍の使用料を請求したものです。ただし、収益をあげる利用であっても、営利を目的としな

い場合はあるので、今後は柔軟な判断をしてまいります。(5ページにも、同議案に係る委員会での質疑を掲載しています)



消防ポンプ自動車の購入契約の締結

問 買い替え対象となった消防ポンプ車の処分については、スクラップなどで簡単に処分してしまうのではなく転売なども検討し、少しでも市の財政にとってメリットのある処分方法を検討すべきではないか。

答 これまでは、テロ対策や悪用を防ぐためスクラップ処分をしていましたが、過去の経緯なども研究した上で、市にとってメリットのある処分ができないか検討してまいります。

問 消防ポンプ車は中型免許で乗車できるが、団員への中型免許取得の助成等を検討することで、団員の増加を見込むなどの考えは無いか。

答 現在のところそうした助成は考えていません

せんが、近隣他市の事例等も踏まえ、中型免許の助成による団員増加などのメリットが見込めれば、検討する必要があります。

小型動力ポンプ普通積載車等の購入契約の締結

問 予定価格の決定については、参考にするために業者から見積りをとることがあるようだが、それでは競争性があまり働かないのではないか。

答 こうした入札でも実際に予定価格を下回った金額での落札となっており、十分な競争性が担保できているのではないかと考えています。

消防団員の活動服の購入契約の締結

問 今回、活動服が更新されるが、更新期間の定めはあるか。

答 活動服の更新期間は定めていませんが、

今回は合併10年経過後はじめての更新となります。

問 デザインの選定にあたっては、若者らしいオシャレな活動服が採用されるよう、選定委員会などを設けてはどうか。

答 デザインには一定の規格があり、その旨を団の幹部の皆様にご相談した上で、規格を満たしたデザインで今回は決定しました。



「付託」って？

条例の制定や予算などの議案が本会議で市長から提案され、議員からの質疑が終了した後、所管の常任委員会などに詳しい審査を委ねることをいいます。委員会での審査後は、本会議で委員長がその審査経過や結果を報告し、議員全員で採決を行います。



一般廃棄物処理施設（氷上クリーンセンター等）の解体工事請負契約の締結

問 処理施設の跡地の活用はどのように考えているのか。

答 解体後は、堤防と同更地に戻す予定です。地元からは、災害時の農機具や家用車の保管場所としての活用を検討できないかとの要望を受けており、今後協議をしていく予定です。

問 跡地の土壌に関する対応はどのように考えているのか。

答 土質調査を行い、その後改良が必要かどうかを見極め、対応を考えていきます。（6ページにも同議案に係る委員会での質疑を掲載しています）

一般会計補正予算（第3号）

問 民間のコミュニケーションFMに委託する事業費について、受信可能地域が60%となっているが、受信できない範囲があると不公平感が生まれるのではないか。

答 今回、民間主導の放送局が、「市民のために」という目的で開設されました。今後活動されていくことが「市民が主役の地域づくり」を推進することを期待し、今回の事業委託はその活動を促進するものと考えています。発信内容として不公平感が生じるようなものとはせず、防災行政無線での放送を抜粋したものを中心に発信を委託する予定です。



常任委員会での主な質疑

本会議で付託された議案について、委員会ですらに詳しく審査を行いました。

総務常任委員会

生涯学習施設使用料の見直しに伴う関係条例の整備

問 今回の改正により、アリーナ・体育館などのスポーツ施設をスポーツ以外の目的で使用する際も使用料は同額となり、今年4月1日にさかのぼって実施されるが、返還されるのは何件か。

答 返還するのは1件です。（3～4ページにも同議案に係る本会議での質疑を掲載しています）

民生常任委員会

災害対応特殊消防ポンプ自動車購入契約の締結

問 平成24年に購入した同タイプのものより約1500万円高くなっているのはなぜか。

答 新たな装備を積載したことや、積算見積が高くなったためです。今回の車は、無線等新たな装備が積載されています。また、三者見積りを取りましたが、いずれも見積額は高騰していました。



26

決算特別 委員会

一般廃棄物処理施設解体工事請負契約の締結

問 土壌にダイオキシン等を含んでいないか。

答 処分場はコンクリート等で外にしみ出さないように対応しており、平成19年、県民局の立ち入り検査で問題はありませんでした。(5ページにも同議案に係る本会議での質疑を掲載しています)

産業建設常任委員会

市立農村交流施設笹路地区交流施設に係る指定管理者の指定

問 新たに合同会社丹波笹路村を指定することについての考え方は。

答 この施設は補助事業で整備してきたもので、これまでの指定管理者が新たに法人格を有するということ、当法人に指定管理するものです。都市と農村の交流促進を目的にするとともに、農業の6次産業化をめざした活動が計画されています。

農作物共済(麦)無事戻金の交付

問 交付対象者が1人だが、加入の実態はど

うなっているのか。また、市が特産品で重点作物としている小豆を共済対象にする考えはどうか。

答 27年度産はたまたま1人でしたが、加入者は13人です。一定規模以上の作付者は当然加入で、全員が加入しています。小豆は、連合会とも



市道特19号線(仮称)上新庄橋)橋梁上部工事請負契約の締結

協議したり、共済加入の意識調査を行ったりしましたが、入らないという意向が強く、収支に課題があります。

問 積算誤りで契約が遅れるが、工期は28年3月25日に間に合うのか。

答 3月末の契約としていますが、標準工期をとるため、3月に繰越の承認をお願いしたいと考えています。

平成26年度決算を集中的に審査するため、9名の委員による決算特別委員会を設置し、審査を行いました。

平成26年度は豪雨災害の被害を受け、予定されていた多くの事業が執行を延期・中止することとなったため、歳出に不要額が多く発生しました。

■国際交流コミュニティ助成事業は、現在、まちづくり部人権啓発センターが多文化共生社会推進として担当しているが違和感がある。市全体の国際交流を広げるといふ意味では、人権という狭

くべきである。
衛生費

■篠山清掃センター管理運営事業においては、篠山市に対しセンターの運営方法や負担金の見直しを求めるなど、諸問題解

6日間にわたり決算を審査



こうした平成26年度からの繰越も含め、災害関連予算の多くは平成27年度予算に計上されています。

なお、決算特別委員会では出された一般会計の歳入・歳出に関する主な意見は次のとおりです。

一般会計 経常収支比率83.0% (対前年1.8ポイント悪化)

※家計に例えると、定期的な収入に占める光熱費などの必要経費のこと。財政では、人件費や公債費などどうしても必要なお金が、歳入全体のどれくらいを占めているかを表します。低いほど財政に余裕があり、通常75%以内が理想とされています。

実質公債費比率8.4% (対前年0.5ポイント改善)

※家計に例えると、収入に占めるローン返済額の割合で、高いほど苦しい財政となります。18%を超えると、地方債の発行に県の許可が必要になります。

総務費

《歳出》

■生涯学習施設使用料の納付方法が変更となり、平成27年度の使用料が一部前納で収入されているが、年度をまたぐ前納は団体にとって不便であるとの意見を聞く。初年度であるがゆえの混乱もあると思われるが、周知を徹底すると共に納付方法の改善に努められたい。

《歳入》

■応相寺宅地分譲団地の分譲について、未だ売れ残っている現状を精査した上で、更にPRに努めると共に、販売を民間に委ねるなどの方策を立て販売の促進を図られたい。

い枠での事業でなく、広い視野に立って企画総務部の国際交流担当が事業推進すべきである。

■C-1戦略事業における丹波市の魅力発信では、丹波市音頭の普及など市民が一体となった戦略展開が不可欠である。今後、市民を巻き込んだC-1戦略の取り組みを行うべきである。

■丹波電活用事業においては、遊具施設や恐竜ミニメントなどある程度の整備はされたが、今後においては、恐竜と自然の公園として川代の景観を楽しめる展望台なども整備し、近隣の自治体からの誘客に積極的にあたられたい。

民生費

■保育料軽減を含む子育て支援は人口減少対策として重要な施策であるが、各市町村横並びに見える。丹波市独自の施策により丹波市らしさを出していくべきであり、それをうまく市内外にPRしてい

決に向け努力されたい。

労働費

■緊急雇用就業機会創出事業で各委託事業が実施されているが、各事業による具体的な成果が見えてこない。もっと成果を明らかにしていただきたい。

農林水産業費

■高性能林業機械整備事業において、山から間伐材を切り出すまでの機械整備は一定整いつつある。今後は、搬出だけでなく同時に集積場から市場へ運搬する方策についても整備されたい。

消防費

■消防団活動服等の支給については、消防団の装備の基準に則るとともに、消防団幹部との協議でニーズの把握を行い、安全に活動できるよう消防団員の処遇改善に努められたい。

■賛否が分かれた議案

※議長は特別多数議決を除き表決に加わりません。

議案	垣内 廣明	坂谷 高義	木戸 せつみ	岸田 昇	平井 孝彦	前川 豊市	西脇 秀隆	西本 嘉宏	田坂 幸恵	藤原 悟	足立 克己	太田 一誠	太田 喜一郎	山本 忠利	土田 信憲	横田 親	荻野 拓司	林 時彦	白井 八洲郎	奥村 正行	議決結果
認定第1号 平成26年度一般会計決算	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 認定 (賛 17、反 2)
認定第2号 平成26年度国民健康保険特別会計事業勘定決算	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 認定 (賛 17、反 2)
認定第6号 平成26年度後期高齢者医療特別会計決算	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 認定 (賛 17、反 2)
認定第12号 平成26年度水道事業会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長 認定 (賛 18、反 1)
議案第78号 災害対応特殊消防ポンプ自動車購入契約締結	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	議長 原案可決 (賛 13、反 6)
議案第81号 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例制定	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 原案可決 (賛 17、反 2)
マイナンバーカードに関する議案【詳細は3ページ PICK UP 参照】																					
議案第89号 手数料条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 原案可決 (賛 17、反 2)
議案第113号 平成27年度水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長 原案可決 (賛 18、反 1)
請願第6号「安全保障関連法案の慎重な審議を求める意見書」を早急に政府へ提出する事を求める請願	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	議長 採択 (賛 13、反 6)
意見書第4号 安全保障関連法案の慎重な審議を求める意見書	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	議長 可決 (賛 13、反 6)

※上記の議案等については、賛成・反対の討論者名などを丹波市議会ホームページで公開していますのでご覧ください。

意見書を提出しました



「肝硬変・肝がん患者に対する医療費等助成制度の創設を早期に求める意見書」を政府や国会に提出しました。

趣旨

1 ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設すること。

2 身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準を緩和し、患者の実態に応じた認定制度にすること。

「安全保障関連法案の慎重な審議を求める意見書」を政府や国会に提出しました。

趣旨

国においては、国民の理解を得るための十分な時間をかけ、慎重に審議することを求める。

「災害ボランティア割引制度の実現を求める意見書」を政府や国会に提出しました。

趣旨

地震や津波、台風や豪雨などの大規模自然災害発生時に、ボランティアが支援活動に取り組みやすくなる制度を制定すること。



CLOSE UP!

9月定例会 議案の審議結果

■全員賛成で可決した議案

 **補正予算** 【詳細は2ページ参照】

議案第102号から112号、114号
 平成27年度一般会計（第3号）
 国民健康保険特別会計事業勘定（第1号）
 国民健康保険特別会計直診勘定（第1号）
 介護保険特別会計保険事業勘定（第1号）
 介護保険特別会計サービス事業勘定（第1号）
 後期高齢者医療特別会計事業勘定（第1号）
 訪問看護ステーション特別会計（第1号）
 看護専門学校特別会計（第2号）
 地方卸売市場特別会計（第1号）
 駐車場特別会計（第1号）
 農業共済特別会計（第1号）
 下水道事業会計（第2号）の各会計補正予算

 **決算** 【詳細は2、7ページ参照】

認定第3号から5号、7号から11号
 平成26年度国民健康保険特別会計直診勘定
 介護保険特別会計保険事業勘定
 介護保険特別会計サービス事業勘定
 訪問看護ステーション特別会計
 地方卸売市場特別会計
 駐車場特別会計、下水道特別会計
 農業共済特別会計の各会計決算

 **クリーンセンター・リサイクルセンター** 【詳細は5～6ページ参照】

議案第93号
 一般廃棄物処理施設解体工事請負契約の締結
 （ひかみクリーンセンター・氷上リサイクルセンター解体・撤去工事 2億4,408万円）

 **その他の案件**

議案第79号	市ノ貝辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の変更
議案第80号	朝阪・福田辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の変更
議案第82号	個人情報保護条例の一部改正
議案第83号	市有施設の使用許可及び取消し手続き規定等の見直しに伴う関係条例の整備等に関する条例の制定
議案第84号	生涯学習施設使用料積算基礎の見直しに伴う関係条例の整備等に関する条例の制定
議案第85号	旧慣による市有財産の使用廃止（小野自治会）
議案第86号	市有財産の無償譲渡（小野自治会）
議案第87号	市有財産の無償譲渡（中野自治会）
議案第88号	市有財産の無償譲渡（黒井区自治会）
議案第90号	消防ポンプ自動車購入契約の締結
議案第91号	小型動力ポンプ普通積載車等購入契約の締結
議案第92号	消防団員活動服購入契約の締結
議案第94号	農業共済条例の一部改正
議案第95号	市立農村交流施設笹路地区交流施設に係る指定管理者の指定
議案第96号	農作物共済（水稻）無事戻金の交付
議案第97号	農作物共済（麦）無事戻金の交付
議案第98号	畑作物共済（大豆）無事戻金の交付
議案第99号	園芸施設共済無事戻金の交付
議案第100号	農作物共済特別積立金の取崩し
議案第101号	市道特19号線（(仮称) 上新庄橋）橋梁上部工事請負契約の締結



市政をただす！

9月定例会一般質問

16人の議員が、市政に対する一般質問を行いました



市長は「自治基本条例」
に基づく市政執行を

前川豊市議員

問 市長は東芦田新水源問題について、関係住民に話し合いをして、理解を求めていくと言っていた。話し合いで理解が得られたのか。また、丹波市自治基本条例を守る気があるのか。

答 青垣地域と幸世地区に延べ16回の説明会をし、「今までどおりの水を飲みたい」という意見が多く出されました。説明会でお聞きした意見や提案を受け、自治基本条例に基づき、より良い解決策を探り出していきます。

問 柏原地域の認定こども園について反対意見が多くある

が、教育委員会は強引に進めている。また、自治会長会でも「住民の理解を得るよう努力すべき」と決議されているが、どうするのか。

答 自治会長には、きめ細かな説明をします。また地域住民に対しては説明会や懇談会を行い、反対されている方々とも膝を交えて話し合いをします。

幼稚園の時から上級生に通園・通学の指導を受けていることが大変意義があります。



県立柏原病院跡地に
新庁舎建設を

田坂幸恵議員

問 県立柏原病院・柏原赤十字病院跡地の活用と県・市有地を含む柏原駅周辺の市街地活性化開発を問う。

答 新病院建設に伴い跡地利用を検討する専門部会として、丹波市新病院等整備推進会議を設置し、一体的な整備計画策定の検討を始めました。県立病院跡地での新庁舎建設につ

柏原病院



いては、地元の思いを十分に聞き、活用策の一つとして幅広く検討して参ります。

問 県立柏原跡地の結論はいつか。

答 平成28年度を目標にしています。

問 市立看護専門学校の新校舎建設や家賃補助の結論は。

答 住まいに対する何らかの支援を検討しています。

問 「ヘルスケアポイント」導入は。

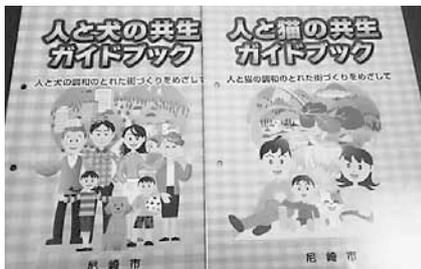
答 導入しスタンプカードも付与。

問 18歳以上選挙権に対する取組は。

答 県立高校で「出前講座」開設の計画や副読本の作成、模擬選挙の導入等、積極的に対応して参ります。



一般質問では、議員が市長やその他の執行機関に対し事務の執行状況や将来の方針などについての報告や説明を求め、今後の政策提言に生かしていきます。



市民啓発のガイドブック(尼崎市)

問 多くの市民が犬や猫などの家庭動物を飼育されている。一方で動物の遺棄や虐待・飼育の途中放棄、マナーの欠如による近隣への迷惑行為、地域猫[※]への意見相違など様々な問題が生じている。猫たちが迷惑な存在にならない適正な飼い方・ルール化ができないか。



野良犬・猫の適正飼養のガイドラインを
平井孝彦議員

平井孝彦議員

答 正しい飼い方やルールは普及・啓発については、広報紙や防災無線で行っています。手術費用の助成は、地域や動物愛護団体との条件が整えば検討します。

問 中高校生の読書離れが目立つ。市図書館の総貸出数の2・6%が中学生、1・2%が高校生である。中高校生に人気のコミック漫画を導入し、読書へと誘う効果が期待できると考えるが。

答 市図書館へのコミック・漫画の導入については、学校図書室の状況を踏まえ検討します。

問 婚活支援事業の見直しや、独自の結婚相談体制の整備を。

答 イベントの周知と参加者の拡大、結婚支援を促進する取組みが市民活動として認識されるような雰囲気づくりも必要と考えます。支援事業と合わせ、良縁を取り持つ仲人のような結婚相談支援の仕組み等方策を検討します。



丹波市独自の結婚相談体制の整備を
藤原 悟議員

藤原 悟議員

問 地理的表示保護(GI)制度を活用し、さらなる丹波ブランド化の推進を。

答 栗、大納言小豆、黒豆などはこの制度に取り組みべきものと考えます。「丹波」を冠する各特産物の場合、大丹波圏域での共通利益になるものであり、県や京都府等、関係機関との調整を進めていく必要があります。



丹波の特産物にGI制度の活用を！

※地域猫：野良猫が住みつく場所で、地域住民の認知と合意の上で共同管理されている猫の通称



水道事業の解決策は

白井八洲郎議員

問 新聞報道によると、8月19日に青垣自治振興会連合会に対し、水道事業配水計画について、西芦田水源、市原水源の揚水量を増水して青垣地域と幸世地区に配水し、水需要の高い時に限り東芦田新水源の水を利用する。また、棧敷水源の水は春日地域に送水するというものだが事実か。

答 ただ今地元で協議願っておりまして、詳細な計画は明らかにはできません。

問 青垣地区へは既に提案しながら、幸世地区は後回しだ。その様に同時でないことが、水道部

への不信感になっている。なぜ同時でないのか。

答 水源のある青垣地域に、先に提案しております。

問 幸世地区にはいつ頃提案されるのか。

答 青垣地域の協議の結果を踏まえた後に提案したいと考えております。



幸世自治振興会が設置した反対看板



県とも連携し 挑戦できるまちづくりを

横田 親議員

問 県の地域創生と連動した、都市圏での移住施策を打つべきだ。

答 市でも関東圏を意識した移住施策に着手しており、県とも積極的に関与し、当該部署との接点を増やし、連動した施策を研究します。若者による東京丹波会のPR活動



問 高校生向けの起業コンペの開催を考えられないか。

答 市内の若者のチャレンジに向

けた施策として、また市外の積極的な若者の移住施策として有効な手段です。今後研究をします。

問 自転車のまちづくりに取り組みないか。

答 丹波の地の利を生かすという観点において道路状況や交通量等をふまえて関係機関とも連携して研究をします。

問 今後数年における最大の必要水量の把握は可能か。

答 平成29年度の人□を推定して事業を進めており、それ以降の最大必要水量は把握していません。以後で回答できるように研究します。



東芦田新水源について

足立克己議員

問 水問題について産業建設常任委員会において、青垣地域の自治協議会役員との話し合いの内容は今は議会には言えないとの事であったが、いつ報告するのか。

答 関係自治会等の役員の皆様と十分に協議し、一定の方向性が出た段階で議会へ報告します。



市原浄水場

問 新水源を春日に送水するには、単純に計算して1カ

月約100円の増額になる。市民に理解してもらい計画することはできないか。

答 新たな施設を建設するのではなく、既存の施設を活用し水融通を行います。

問 兼業農家に補助金は出せないか。

答 兼業農家を含め、幅広い農業者を支援の対象としていきます。

問 国民健康保険証の材質を変えるか、ラミネート化することはできないか。

答 プラスチック製のカードは単価が高いため、ビニール製のカード入れを各支所の窓口配置することを考えています。

*一般質問の原稿は、質問した議員が各自作成しています。



西芦田浄水場



青垣新水源は飲料水には使わないように

西脇秀隆議員

問 住民説明会を終えて、青垣新水源の廃止または新水源の配水計画の見直しをしないのか。

答 青垣新水源は必要な水源であり、廃止は考えていません。説明会を出された住民の意見を真摯に受け止めさせていただきます。現在、住民との歩み寄り案を青垣4地区の代表に提案しています。

問 教育委員会の職歴構成は5名中4名が教員経験者と著しい偏りがあるのではないのか。レイマンコントロール※はどうか。

答 いずれも地域で活躍されており、地域の意向を反映できると考えています。

問 雇用促進住宅が平成33年までに廃止されるが、市はどの対応するのか。廃止地域に市営住宅の新設は考えないのか。

答 雇用促進住宅の市への譲渡提案は断っています。市営住宅新設の予定はありません。現在、住民の動向を踏まえ新しい「住生活基本計画」の中で検討中です。



かつて経験のない災害にどう備えるか

太田一誠議員

問 総合戦略の丹波市の目的は。

答 人口減少克服と人口減少社会にあっても市民がいきいきと暮らせる活力あるまちづくりを大きな柱として考えます。数値目標等を定め評価検証し、推進する考えです。

問 災害ボランティアの重要性について。

答 緊急時に災害ボランティアを的確に受け入れる仕組みづくりは、社協と共に協議をすすめたことと考えています。

問 小学校統廃合の事前事後のハードソフトの考え方に。



人口減少問題について提起された本

答 ハード面が優先され子どもたちの学びの視点が失われないうちの面は心のよりどころであり、十分に議論の場は確保できていると考えます。



丹波市のゴミは新クリーンセンターで

林時彦議員

問 山南地域のゴミを搬入しても丹波市クリーンセンターにおいて処理することは可能。この機会に篠山市とのゴミ処理契約を見直すべきだ。

答 篠山市とのゴミ処理契約は当初からいろいろと難しい問題を抱えていますが、新クリーンセンター稼働の機会を捉え、篠山市に働きかけていきます。

問 平成26年度一般会計及び特別会計、水道事業会計の未収金合計は、約13億円にもなっている。また、不能欠損処分においては2年間で1億3千万円になっている。未収金

答 は不能欠損につながり、負担の公平性が崩れ、住民の行政不信を引き起こす。未納発生の事前抑止、滞納理由に応じた徴収対策により、徴収確保に努めるべきだ。

答 各関係課が一体となり、未収金に対する取組みの効果的推進、債権回収に係る連携の強化を図り、徴収スキルや情報を共有し、連携を図りながら取組みに努めていきます。

受付



自主納付をお願いします



東芦田新水源

問 春日へ直送するのにも多額の費用があるのなら、東芦田新水源の日量1000mをカバ―するため、市原、西芦田、棧敷水源それぞれの揚水量を増やし、地元で水融通をすることにより、今までの水が飲めるようにしてはどうか。また、東芦田新水源は、災害等緊急時の



青垣・幸世で水を融通し
今までの水を

太田喜一郎議員

予備水源とすることにより住民の不安を解消してはどうか。
答 少しでも地域の住民の方の不安が解消できるよう、関係自治会の役員の皆様と共に解決に向け取り組みます。
問 新道路整備計画策定において、新病院への石生駅及び柏原駅からのアクセス道路や、山南、春日、市島方面からのアクセス道路の整備は別枠事業で早期に着手する必要があると思うがどうか。
答 優先度の高い道路と認識し、新病院建設の進捗と合わせて進めなければならぬと考えています。

問 株かどのは、やすら樹から生み出された剰余金を他



跡地活用に関心を抱える旧かどの保育園

問 葛野自治振興会は半数近い自治会長が反対する中地域密着型通所介護施設の経営をやすら樹の指定管理者株かどのへ委託しようとしているが市の考えは。
答 地域課題を地域で解決する取組みの先進的事例になると期待しています。

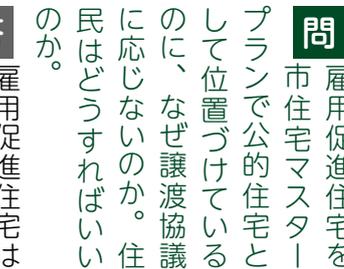


介護施設経営に
多くの自治会長が反対

岸田 昇議員

の業務に使えるのか。
答 指定管理における原則的な考え方は、あくまでも施設に係る資金は施設の管理にだけ運用するため、現状では他の業務に使われることは問題がありません。
問 総合戦略、人口ビジョンを確かなものとして進めるには、地域づくり特別交付金事業を継続し、持続可能な事業展開を指導員、推進員、住民が一体となつて取り組むべきでは。
答 総合戦略を確実に進めるには行政と市民との参画と協働が重要であり、戦略の策定過程において市の課題や取組方策等について情報共有を図ります。

答 雇用促進住宅は耐震構造やバリアフリー等に問題があり、改善するには



雇用促進住宅（山南町和田）

問 学校整備は、教育基本法、学校教育法に則り文部科学省が定めた中学校整備指針、適正配置の手引きに基づきすべきでないか。
答 井原地区の農地の整備に関する法律により農振除外5要件のハードルが高く、且つ農地法により転用が困難です。
問 雇用促進住宅を市住宅マスタープランで公的住宅として位置づけているのに、なぜ譲渡協議に応じないのか。住民はどうすればいいのか。
答 雇用促進住宅は耐震構造やバリアフリー等に問題があり、改善するには



学校整備は教育基本法
等に則りすべきだ

木戸せつみ議員

多額の費用が必要で。将来、木造の市営住宅の建築を視点に入れていますが、空き家の活用も考えていただきたい。
問 県道篠山・山南線南バイパスの青田神社前狭窄部分の解消を。
答 丹波土木事務所と連携し、用地の買収に協力します。

*一般質問の原稿は、質問した議員が各自作成しています。



**災害土砂処分と
業務委託について**

土田信憲議員

問 民家近くの災害土砂の処分時期は。

答 土地所有者の承諾をいただき土砂を仮置きしておりますが、災害土砂を有効利用するため、地域で計画されているほ場整備等への活用を見極めながら撤去を進めます。



災害土砂の処分場

問 ゴルフ場予定地への災害土砂搬入に問題はないのか。問題や事故が発生した場合、市の責任は。

答 搬入は盛土により施工される箇所であり、搬入土砂の流出はないものと考えております。また、土砂の搬入時に逐一点検しており、指定外の土砂搬入はないものと考えております。なお、問題が発生した場合は、県とも連携しながら改善に臨みます。

問 移住や新規就農に係る相談業務は、市が窓口となり直接取組むべきではないか。

答 就農支援センターにより直接相談に対応しており、委託先とは打ち合わせや情報交換などを通じて充実した相談業務に努めています。



**特措法施行を踏まえた
空き家対策は**

坂谷高義議員

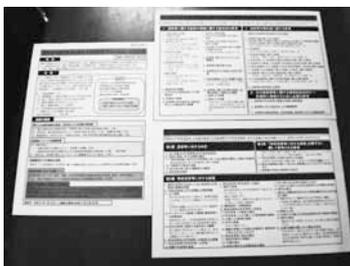
問 長期不在の家や、都会などで暮らす丹波市出身者の実家や親戚の家などを、民間の力やシルバー人材センターなどを活用して管理する取組みを促進（支援）すべきではないか。

答 空き家の管理については、空き家を管理するビジネスを立ち上げられた民間業者もあり、シルバー人材センターに草刈りなどを委託されている所有者もありません。また、管理の促進策については、現在、空き家等対策審議会において、適正管理や活用施策を審議いただいています。

問 市内の自治会からの要望に対し

て、例えば空き家の不要な家財道具の処分費用（搬出・処分等）に対する補助制度や、空き家の解体撤去費に対する助成などができないか。

答 自治会が所有者の承諾を得て空き家の解体撤去を実施される場合は、それに要する費用の一部を補助金として交付することについて現在検討しています。



空家等対策の推進に関する特別措置法の概要



**全小中学生に
自転車保険の公費負担を**

西本嘉宏議員

問 本年10月から義務化される自転車保険加入において全小中学生に公費負担は。

答 小学生を含む一般市民は、個人による加入促進を図ることを基本とし、中学生については学校管理下の通学手段として自転車通学を位置付けており、平成28年度からの事業化を検討します。



自転車通学する中学校の生徒たち

問 有機農業を丹波ブランドに位置

づけ、新規参入と雇用拡大をめざす推進体制をとること。6次産業化の推進のため、JAとの共同開発や「公社」の設立は。

答 有機農業は市島地域を中心にJAS認定農家等増加しています。出荷体制や大量生産の技術向上、販路拡大等が課題です。有機センターは将来の展望について検討を進めます。6次産業化は農業者が主体になり取り組むのが基本ですが、経験に乏しいことが大きな課題で専門家の助言を考えられています。新たな体制とJAとの公社の設立は考えていませんが、今後検討します。

従

来の予算重視の行政運営から、結果や成果を重視する事業展開が求められており、そのことを客観的に示すための作業として、市では「行政評価」が導入されています。議会では、丹波市総合計画で示された政策の実現に向けて事務事業が効率的に実施されているかを外部評価するため、各常任委員会で対象事業を選定して議論を重ね、提言書にまとめました。

こ

の結果は、今後の議会での政策立案に活用するとともに、平成28年度予算に反映させるため、「平成26年度事務事業に対する提言書」として、9月30日、市長へ提出しました。その内容をお伝えします。

提言①

生涯学習 組織体制

生涯学習施設管理・ 統括事業

■(施設の)稼働率の目標は、根拠を持った数値を設定すべきであり、その際、平日昼間、土日等に分けて設定すべきである。

■平成25年度から、開示請求の受理から開示決定

稼働状況を把握し、平日昼間の利用を促すなど、空き状況に対する明確な対策を講じるべきである。

情報公開・個人情報 保護事業

■個人情報保護の重要性を鑑みたうえで、自治基本条例第9条第3項の個人情報提供できる団体等の認証や方法に関する要綱を早急に整備し、開示していくための制度を作る必要がある。

外部評価の流れ

- ①各委員会で事務事業を選定
- ②担当部局から事業説明
- ③数回にわたる協議
- ④提言書にまとめる
- ⑤市長へ提言



までの事務処理は各担当課での対応になったが、開示決定の判断基準が各課によってまちまちである。統一した見解が必要である。

■開示請求は年間1000件程度である。情報の一層の公開を図り、市民の知る権利を守るため、開示手数料(1件200円)は廃止するべきである。

職員研修 人材育成事業

■「異業種のプロフェッショナルとされる人物から学ぶ」としながら、県自治研修所ばかりの研修になっっている。民間から講師を招へいするなど、意識改革ができる研修が必要である。

■講習は一度聞いただけでは忘れてしまう。半年、一年のスパンで「振り返り」ができる仕組みを考え、職員自らが変わり続ける努力を継続し、自ら学ぶ「自学」の意識を持つ

た職員を育成すること。

■人材育成のためには、担当部署の在任期間と業務の習熟度についての相関関係を研究し、適材適所の職員配置とする。

提言②

健 保 高 齢 者 福 祉

疾病予防事業 生活習慣病予防

■防煙教室は、児童生徒が喫煙による健康被害及び命の大切さを学習する大切な機会であるため、市内全校で低学年からの開催を目標に取り組みべきである。

また、実施にあたっては、学校への積極的な働きかけを行い、継続して取り組まれない。

■乳がんは、早期発見で適切な治療を行えば良好な経過が期待できるものであり、乳がん検診受診率を指標に掲げ受診率の向上に取り組むべきである。

また、過去5年間に於ける婦人科検診無料クーポン券の未利用者に対して、再度無料クーポン券を配布するなど受診勧奨を推進されたい。

■国保加入世帯に集団健診や特定健診のアンケートを実施することで、未受診の詳細な理由を把握し、その対策として託児所の設置等を講じるなど受診率の向上を図られたい。

また、年度毎の疾病別患者数の実態を市民にPRすることにより、健康への関心を高め、健診に対する動機づけを図られたい。

地域包括支援センター事業

■高齢者安心センターに

ついては、相談実績が向上し、市民の認識度が高まっているが、さらなる高齢者の権利擁護のために常設での権利擁護センター設置を検討されたい。

また、8師士会による専門分野の方々が連携する組織を立ち上げるなど、高齢者福祉の向上を図られたい。

■近年、認知症予備軍を含む65歳以上の認知症高齢者が5人に1人であると言われている。そのため、早期の認知症初期集中支援チーム確立や、認知症地域支援推進員制度の充実を図るなど、認知症になっても安心して暮らせる支援体制づくりに取り組まれたい。

■要支援1・2の認定者に対する介護サービスが、平成29年度から新総合事業へ移行するにあたっては、利用者がこれまで通りのサービスが利用できるよう検討されたい。

■地域包括支援センターの民間への業務委託につ

* 議会外部評価 *

市議会からの提言

いては、その実施状況や利用者の意見集約を行うなど運営に対する評価を行われたい。

提言③

農林業 移住・定住

特産物振興事業

■市としての独自性が必要であり、専門員を配置し特産物の振興と合せて、販売・マーケティングまでも事業展開する専門の部局を組織し、技術支援や丹波ブランドの評価を更に確立する事業推進を行うべきである。

**移住・定住化促進
対策事業**

■どの層にターゲットを

おいて定住化を促進するのか明確にし、数値目標を設定すべきである。また、新しいき定住促進住宅補助の交付について、地域経済の活性化も必要であるが、市外業者による施工も適用するよう見直す必要がある。

さらに、田舎暮らしワンストップ相談窓口においては、各セクターに対応できる専門性を持った窓口にするべきであり、今後相談にいられた方の安心・信頼を確保する為、委託ではなく直営とすることを検討すべきである。



市長へ提言書を手渡しました。



議会改革度は県内第7位（全国123位）

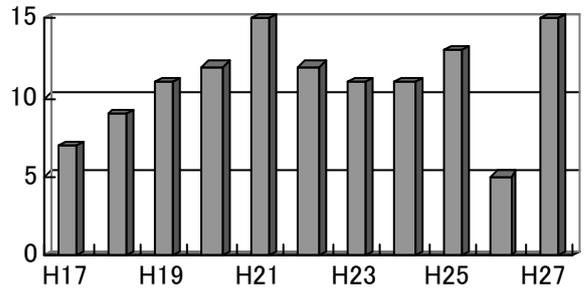
地域医療や災害復旧などとあわせ 議会改革に関する視察が増加

丹波市議会では議会の活性化を図るため、平成23年の議会基本条例制定をはじめ、議員定数の削減や議員各自の政策立案能力の向上、議員倫理の確立、タブレットの導入、積極的な情報公開による市民に開かれた議会運営など、様々な議会改革に取り組んできました。

こうした取り組みが評価され、2014年度議会改革度ランキングでは、全国123位（県内7位）に選ばれました。

また、地域医療を守る取り組みや災害対策事業、丹波市のまちづくりなどの各種事業と合わせ、議会改革に対する他市議会からの視察も増加しています。

■視察受入れ状況



※26年度は災害以降受入れを中止。
H27は9月末までの受付分。

※議会改革度調査2014(早稲田大学マニフェスト研究所)では、『議会が果たすべき役割』として、会議録や交際費・視察結果などの情報公開、傍聴や議会報告会などの住民参加度、議会機能の強化の3つの柱を掲げ、各自治体のそれぞれの改革度合を数値化し、結果を公表しています。調査対象は、各都道府県及び市区町村の全地方議会の内、同調査に回答した1,444議会（80.7%）です。

一般質問の情報を

ホームページで公開しています。

- *定例会の日程や一般質問の内容を掲載。
- *本会議の映像を配信していますので、ライブ中継・録画中継がパソコンやスマートフォン、タブレットでご覧になれます。
- *過去の会議録を見ることができます。



ホームページで Check !

丹波市議会

検索

■12月定例会の日程

日	曜日	内 容	開会時間
1	火	本会議（議案提案）	9：30
7	月	本会議（一般質問）	9：00
8	火	本会議（一般質問）	9：00
9	水	本会議（一般質問）	9：00
11	金	本会議（議案質疑）	9：30
15	火	常任委員会	9：30
16	水	常任委員会	9：30
17	木	常任委員会	9：30
18	金	補正予算特別委員会	9：30
22	火	本会議（議案の採決）	9：30

*上記の日程につきましては、変更となる場合もありますので、最新の情報はホームページでご確認ください。

「議会報告会」を開催します

「市政」について

みなさんのご意見を

直接お聴きする

大切な機会です。

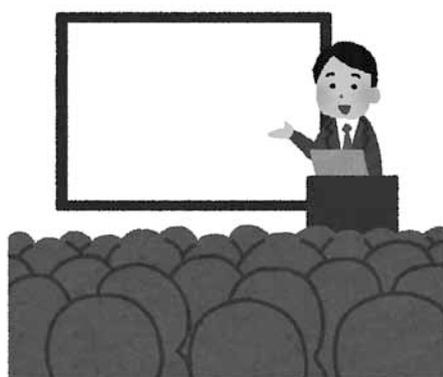
議会からは

議会の審議内容や結果を

ご報告します。

みなさんのご参加を

お待ちしております。



開催日程（時間：午後7時30分～9時）

- * 柏原地域 11月10日（火）柏原自治会館大会議室（3班）
- * 氷上地域 11月10日（火）生郷交流会館（1班）
- * 青垣地域 11月 9日（月）青垣住民センター大会議室（1班）
- * 春日地域 11月10日（火）ハートフルかすが大会議室（2班）
- * 山南地域 11月 9日（月）山南住民センター（3班）
- * 市島地域 11月 9日（月）市島農村環境改善センター大会議室（2班）



班編成（担当議員） ※班長・副班長・班員の順に記載

- * 1班 林 時彦、太田喜一郎、木戸せつみ、岸田 昇、西脇 秀隆、足立 克己、太田 一誠
- * 2班 山本 忠利、坂谷 高義、平井 孝彦、土田 信憲、横田 親、荻野 拓司
- * 3班 前川 豊市、西本 嘉宏、垣内 廣明、田坂 幸恵、藤原 悟、白井八洲郎

柏原町には、丹波の森公園と年輪の里という大きな公園が二つありよく利用されている。柏原病院と柏原日赤があることが病気になったとき心強い。二つの幼稚園と保育所が公立であることも柏原の自慢で続けてほしい。

柏原地域
飯谷 馨さん



こんなことがしたい、何かを見つけたい！という熱い想い。声を上げれば、受け止めたり、広めたりしてくれる人達があちこちにいる。単なる田舎の良さだけでなく、丹波市の未来をオモロく変える人的パワー溢れています。

氷上地域
関 美絵子さん



清流の堤を彩る絢爛豪華な桜並木、木陰で聴き入る蝉しぐれ。澄み渡る空、深く頭を垂れた黄金色の稲穂、一面に真綿を散した様な雪景色。こんな姿を持つ「丹波」。こんな姿と共に、優しい心豊かな人々が自慢である。

青垣地域
足立 精利さん



皆さんからのひとこと

[テーマ] **私が自慢したい**

「丹波市の魅力」



我が町山南には昭和 58 年発足の「歴史、自然探訪友の会」があり、既に 217 回の探訪を実施し多数の参加を得ています。また、グランドゴルフ等 多種目のスポーツが盛んで中高年の健康づくり、仲間づくりができています。

山南地域
真島日出夫さん



人情味あふれ、自然豊かな四季を感じられるまち。夜空を見上げた時の無数の星の輝き、「田舎で何もないからこそ見れる小さな光、透き通った空気、絶対都会では味わえない心の癒し」は私の自慢です。

春日地域
矢持 領一さん



朝、涼やかな風と、小鳥の声に包まれます。山裾には霧がかかり、草木に付く水滴が、喉の乾きを癒します。強い太陽と、山際の月が、「あたりまえ」を教えてくれて「ありがとうございます」と感じます。

市島地域
高橋 秀彰さん



発行責任者 議長 奥村 正行
 議会報編集委員会
 委員長 横田 一親
 副委員長 太田 誠
 委員 木戸 せつみ
 委員 西脇 秀隆
 委員 足立 克己
 委員 荻野 拓司

編集後記
季節は秋になり、市内の田んぼにも稲刈り作業や黒枝豆の収穫作業の様子があちこちで見られるようになりました。
丹波市の自然、環境を守るために頑張つておられる農業者の皆様のためにも、議会としても市の農業政策の充実を図らねばと思う季節です。